



早いもので、今年もあと1週間で終わります。新型コロナウイルスの取り扱いが変わり、世の中の動きや幼稚園の生活も変化してきました。マスク着用が個人の自由となり、友達との触れ合いも楽しむようになりました。感染そのものがなくなったわけではありませんが、以前に比べどのような場面で気をつければよいのかわかってきたので、基本的な感染対策は講じながら活動や行事、地域の方々や学校などとの交流なども、規制を少なくし、子ども達がより楽しく成長できるような内容を考えてきました。多くのおうちの方に応援してもらってかいっぱい頑張った運動会。異年齢のチームでオリエンテーリングを楽しんだ遠足や園内での様々な触れ合い活動。楽しんできた遊びや経験をクラスの友達や先生と劇にしてのびのびと表現した生活発表会は、4年ぶりに全学年を通した発表を人数制限なしでたくさんのおうちの方に見てもらうことができました。まだまだ様々な感染症には気をつけたいといけません、このまま子ども達が笑顔で友達と十分に触れ合って成長できる園生活を進めていきたいと思ひます。

たくさん行事や全園児での活動、クラスでの遊びなど、二学期も充実して行うことができたと思ひます。これまでの園だよりも再三書かせてもらってききましたが、一つ一つのこと子ども達が、自分で、あるいはクラスの友達と、「こんな風になりたい」「〇〇ってことだね」「がんばってやってみる」「それ、いいね！一緒にやろう」など、願ひをもって取り組んだからだと思ひます。その願ひを担任が受け止め、支援することで、更に意欲をもったり、試行錯誤したり、思いを出し合ったり、時には我慢もしたりしながら、活動が楽しくなるように進めることができました。二学期は、子ども達がいろいろなことを経験したり、これまでの経験を生かしたりしながら伸びていく、いわゆる『成長期』にあたります。この時期に、幼児期で育てたい『自分でやってみようとする力』『自分なりに予想をして試行錯誤する力』『簡単に諦めない力』『友達と思いを出し合い、一緒に何かをしようとする力』『自分の気持ちに折り合いをつける力』などの芽生えが、あちこちの場面がたくさん見られました。これは幼稚園生活だけでなく、ご家庭での温かい心の基地があったからこそだと思ひます。こうした芽生えを大切に支え、伸ばし、三学期へつなげていきたいと思ひます。

保護者の皆様には、今学期もたくさんのご協力と、あたたかいご支援をいただき、本当にありがとうございました。三学期もよろしくお願ひいたします。良いお年をお迎えください。

サンタクロースがやってきた！

各保育室でクリスマスソングを歌ったり、サンタさんからもらうプレゼント入れの長靴を画用紙で作ったり、職員室にある『サンタさんへのお手紙ポスト』に絵や文字をかけた手紙を入れたりして、サンタクロースが幼稚園に来てくれるのを心待ちにしていた子ども達。20日（水）の朝、昨日まで確かにあったはずのプレゼント入れの長靴がなくなっていて、代わりにサンタクロースから『20日に平田幼稚園に行きます』という手紙がありました。実は、き組さんはすぐに手紙が見つかったのですが、あお組さんはわかりにくい所に置いてあり、なかなか見つけられず少し焦った表情のあお組さんでしたよ。ようやく見つけたあお組さん、「りんご組さんにも教えてあげよう」と教えに行ったり、「今日、来てくれるって！」「やったー！！」と、子ども達はそれは大喜びでした。遊戯室で12月生まれさんの誕生会をした後、『あわてんぼうのサンタクロース』の歌を歌っていると、どこからともなく鈴の音が・・・♪次の瞬間、「メリークリスマス！」とやってきたのは、赤い服に白いおひげのサンタクロース！喜んでしゃぐ子と、「えっ、本当に・・・？」といった感じの子と、様々な反応でした。クラスごとにサンタさんに聞いてみたいことを手紙に書いていたので、サンタさんはそれに英語で答え、職員が通訳して子ども達に伝えました。その後、サンタさんから一人ずつ手渡してプレゼントをもらい、大事そうに抱えていましたよ。最後に一緒に記念写真を撮ってサンタさんとお別れしました。サンタさんへのお手紙ポストから今日まで、子どもらしい夢がたくさん詰まった時間でした。（ちなみに、年長児はお礼などを書いてまたサンタポストに入れていましたよ。）



「見て、サンタさんの手紙だよ！」



「サンタさん、ありがとう」



サンタさんと一緒に記念写真 年少りんご組



年中き組



年長あお組